

- 問1 和歌山県において、ミカンの栽培が盛んに行われている理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 冷涼な気候を好む果樹であるため、標高の高い山地や高冷地を拓いて大規模に栽培されている。
 2. 冬の積雪から果実を守るために、ビニールハウスなどの施設を利用した促成栽培が中心となっている。
 3. 黒潮の影響による温暖な気候と長い日照時間を活かし、水はけの良い傾斜地で栽培されている。
 4. 夏の季節風による多雨と、広大な平野部にある肥沃な土壌を利用して栽培されている。
- 問2 中国地方に位置し、平和を象徴する世界遺産を持つ都市について、その都市の歴史的・地理的条件を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2017年 福岡県公立入試 類似）
1. 平和記念公園全体が自然遺産として登録されており、本州四国連絡橋の起点として四国地方の経済を支える都市である。
 2. 原子爆弾の惨禍を伝える原爆ドームが世界遺産に登録されており、山陽新幹線などの主要幹線によって結ばれた地方中枢都市である。
 3. 明治時代の産業革命遺産が世界遺産に登録されており、瀬戸内工業地域の中核として古くから東海道と直結して発展した。
 4. 厳島神社が世界遺産に登録されており、江戸時代には東海道の宿場町として栄えた歴史を持つ日本海側の都市である。
- 問3 戦国時代、織田信長が現在の滋賀県にある琵琶湖東岸に安土城を築いた理由として、当時の交通や地理的条件から考えられる背景として最も適切なものはどれですか。（2016年 茨城県公立入試 類似）
1. 内陸県特有の険しい山岳地帯を利用して、周辺諸国からの武力侵攻を完全に遮断するため。
 2. 四方を山に囲まれた盆地特有の気候を活かし、鉄砲の原料となる硝石を効率よく生産するため。
 3. 海に面していないことを利用し、当時対立していた瀬戸内海を拠点とする海軍の攻撃を避けるため。
 4. 琵琶湖を利用した水上交通と、北陸や東海から京都へつながる陸上交通の要所を支配するため。
- 問4 琵琶湖の南端付近から流れ出し、堤防が整備された都市部の住宅地を通りながら複数の支流と合流して大阪湾へ向かう淀川水系の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
1. 日本で最も長い河川であり、上流部の雪解け水を利用した発電や米作りが流域の主な産業となっている。
 2. 水源である琵琶湖が天然のダムのような役割を果たしており、下流域への流量調節や水利用を安定させている。
 3. 九州地方を横断する日本有数の急流河川であり、古くから「筑紫次郎」と呼ばれ激しい洪水を引き起こしてきた。
 4. 日本で最も流域面積が広く、広大な関東平野の農業用水を確保するために大規模な分水嶺が形成されている。
- 問5 滋賀県の地方版図柄入りナンバープレートには、波打つ湖水の様子が描かれています。このイラストのモチーフとなっており、滋賀県の面積の約6分の1を占める、日本で最大の面積を持つ湖の名称を答えなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）
1. 霞ヶ浦
 2. 中海
 3. 琵琶湖
 4. サロマ湖
- 問6 近畿地方の産業構造において、文化財の存在が観光に与える影響を説明した次の文のうち、その因果関係を正しく説明しているものはどれですか。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
1. 重要文化財が多い府県では製造業が衰退しているため、代わりにスキーや海水浴などのレジャー客を誘致することで観光目的の宿泊者を増やしている。
 2. 文化財の数が多い地域では、景観保護のために宿泊施設の建設が制限されるため、結果としてビジネス客の割合が上昇している。
 3. 歴史的資源の豊富さと観光目的の宿泊者割合には直接の関連はなく、交通網の整備状況のみが観光客の割合を決定している。
 4. 古都の景観や国宝などの文化財を保護・活用することで、国内外から観光目的の来訪者が集まり、宿泊利用においても観光客の比率を高めている。
- 問7 滋賀県の2015年から2045年にかけての年齢3区分別人口の推移について、将来推計から読み取れる傾向として適切なものはどれですか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）
1. 生産年齢人口と年少人口がともに減少し、老年人口のみが増加する。
 2. 年少人口と老年人口がどちらも増加することで、総人口の減少が相殺される。
 3. 老年人口の増加よりも年少人口の減少が緩やかなため、少子化が改善に向かう。
 4. 総人口の減少に伴い、年少・生産年齢・老年すべての区分が減少する。
- 問8 兵庫県周辺の気候を比較したとき、日本海側の地域（鳥取県など）で冬の降水量が多くなる要因として正しいものはどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）
1. 南東からの湿った季節風が上昇気流となり、発達した積乱雲をもたらすため。
 2. 北西からの湿った季節風が山地にぶつかり、雪や雨を降らせるため。
 3. 梅雨前線や秋雨前線が停滞しやすく、年間を通じて降水量が平均化されるため。
 4. 黒潮の影響で海水の温度が上がり、冬でも大気が不安定になりやすいため。
- 問9 リアス海岸は、その複雑な地形からくる環境的な特徴を利用して、古くから人々の生活や産業に役立てられてきました。この地形がもたらす利点とその活用例として最も適切なものはどれですか。（2023年 鳥根県公立入試 類似）
1. 海岸線が直線的で遠浅な砂浜が続くため、大規模な海水浴場や塩田開発に適している。
 2. 地盤が非常に強固で平坦であるため、大型の重化学工業地帯やコンテナターミナルの建設に適している。
 3. 奥行きのある入り江は波が穏やかであるため、真珠やカキなどの養殖業や天然の良港として利用される。
 4. 海岸沿いに広大な平地が広がるため、大規模な水田地帯として食料生産の拠点となっている。
- 問10 京都の産寧坂のように歴史的な町並みを残す地域では、以前は空を遮るように張り巡らされていた電柱や電線が、現在では姿を消し、景観の見通しが非常に良くなっている事例が見られます。このような景観保全のための取り組みの名称として、最も適切なものはどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
1. 市街地再開発事業
 2. 道路の拡幅工事
 3. 建物の高層化
 4. 電線の地中化
- 問11 神戸市は、背後に山地が迫り海に面しているため平地が極めて少ないという地理的条件を持っています。この課題を解決するために行われた、「山、海へ行く」とも称される独自の開発手法について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
1. 六甲山地の森林を保護するために大規模な植林を行い、海岸部では自然の砂浜を維持しながら小規模な観光施設を建設した。
 2. 六甲山地の土砂を削り取って住宅地を造成し、その土砂をベルトコンベア等で運んで海を埋め立て、ポートアイランドなどの人工島を築いた。
 3. 海水の浸食を防ぐために六甲山地から切り出した巨大な岩石で海岸線を囲い、山間部には地下ダムを建設して農業用水を確保した。
 4. 海外からの輸入土砂を利用して大規模な人工島を造成し、削り取られた山地の跡地はすべて自然公園として活用する手法をとった。
- 問12 歴史的な景観を保護する取り組みが進んでいる地域において、実際に導入されている具体的な景観対策として正しいものはどれですか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. 観光客の利便性を高めるため、寺社の境内に近代的な大型ショッピングモールを併設する
 2. 夜間の視認性を高めるため、すべての看板に原色のネオンサインを使用させる
 3. 効率的な物流を実現するため、古い街並みを解体して道幅の広い直線道路を整備する
 4. コンビニエンスストアなどの看板の色を、周囲に馴染む落ち着いた茶色や白に変更する

答え合わせ・解説

問1	答え 3 黒潮の影響による温暖な気候と長い日照時間を活かし、水はけの良い傾斜地で栽培されている。	ミカンの栽培には、年間の平均気温が高く、冬に氷点下になりにくい温暖な気候が必要です。和歌山県では、日当たりの良さに加え、水はけが重要視される果樹栽培の特性に合わせ、山が海に迫る地形を利用した傾斜地での栽培が発達しました。これらは品質の良いミカンを育てるための重要な地理的条件となっています。
問2	答え 2 原子爆弾の惨禍を伝える原爆ドームが世界遺産に登録されており、山陽新幹線などの主要幹線によって結ばれた地方中枢都市である。	広島市は、人類史上初めて原子爆弾が投下された悲劇を象徴する原爆ドームという世界遺産を有しています。また、地理的には東海道・山陽新幹線や山陽自動車道といった日本の主要な交通軸に位置しており、中国地方の政治や経済の核となる地方中枢都市としての機能を持っています。
問3	答え 4 琵琶湖を利用した水上交通と、北陸や東海から京都へつながる陸上交通の要所を支配するため。	滋賀県（当時の近江国）は、北陸地方や東海地方から京都へ向かう際に必ず通る交通の要衝でした。琵琶湖は単なる湖ではなく、大量の物資を運ぶ水上ルートとして活用されており、信長はその利便性に注目しました。京都に近いこの地に拠点を置くことで、物資の流通や情報の把握を容易にし、天下統一を有利に進める狙いがありました。
問4	答え 2 水源である琵琶湖が天然のダムのような役割を果たしており、下流域への流量調節や水利利用を安定させている。	淀川水系は、巨大な貯水能力を持つ琵琶湖を水源としているため、他の河川に比べて流量が安定しているという特徴があります。これにより、下流域の大阪や京都といった大都市圏に対し、洪水被害の軽減や、飲料水・工業用水の安定的な供給が可能となっています。選択肢にある「流域面積が広い」のは利根川、「日本一長い」のは信濃川、「筑紫次郎」は筑後川の説明です。
問5	答え 3 琵琶湖	滋賀県の中央部に位置するこの湖は、日本で最大の面積を誇る淡水湖です。県土の約17%を占める広大な水面を持ち、古くから水運や漁業に利用されてきました。茨城県にある霞ヶ浦は日本で2番目に大きい湖であり、島根県と鳥取県にまたがる中海は汽水湖として知られています。
問6	答え 4 古都の景観や国宝などの文化財を保護・活用することで、国内外から観光目的の来訪者が集まり、宿泊利用においても観光客の比率を高めている。	近畿地方の観光業は、豊富に存在する文化財が大きな付加価値を生んでいます。国宝や重要文化財が特定の地域に密集していることで、それ自体が目的となる観光ルートが形成されます。統計データにおいても、文化財が豊富な地域ほど、仕事（ビジネス）ではなく余暇や観光を目的として宿泊する人々の割合が高いことが示されており、歴史的資源の保存と観光産業の活性化が密接に結びついていることがわかります。これは、単に施設が多いということではなく、資源の質（歴史的価値）が滞在目的を規定している例といえます。
問7	答え 1 生産年齢人口と年少人口がともに減少し、老年人口のみが増加する。	滋賀県の人口構成の推計では、15歳から64歳の生産年齢人口と0歳から14歳の年少人口は一貫して減少傾向にあります。対照的に65歳以上の老年人口は増加を続け、2045年には老年人口が年少人口の約2.7倍という極めて高い水準に達することが予測されており、労働力不足や高齢者支援のあり方が今後の重要な論点となります。
問8	答え 2 北西からの湿った季節風が山地にぶつかり、雪や雨を降らせるため。	冬になるとユーラシア大陸から冷たく乾いた北西の季節風が吹き出しますが、日本海を渡る際に暖流の影響で水蒸気を多く含みます。この湿った空気が中国山地などの山地にあたって上昇することで、日本海側の地域に雪や雨をもたらします。そのため、瀬戸内側の地域とは対照的に冬の降水量が多くなるという特色があります。
問9	答え 3 奥行きのある入り江は波が穏やかであるため、真珠やカキなどの養殖業や天然の良港として利用される。	入り江が陸地の奥深くに入り込んでいるため、外洋の激しい波が遮断され、水面が非常に穏やかになります。また、沈降によって水深も十分に確保されるため、大型の船が停泊する港や、波の静かさが求められる魚介類の養殖に適した環境となります。
問10	答え 4 電線の地中化	歴史的な景観を保全する地域では、電柱や電線を道路の下に埋設する「電線の地中化」が行われます。これにより、伝統的な建築物の背景に現代的な電柱や電線が入り込むのを防ぎ、空への視界を確保することで、町並み本来の美しさを維持・向上させることができます。建物の高層化や道路の拡幅は、むしろ歴史的景観を損なう要因となることが多いため、景観保全の文脈では避けられる傾向にあります。
問11	答え 2 六甲山地の土砂を削り取って住宅地を造成し、その土砂をベルトコンベア等で運んで海を埋め立て、ポートアイランドなどの人工島を築いた。	神戸市は北側に六甲山地、南側に瀬戸内海が迫る東西に細長い地形で、都市活動のための平地が不足していました。そこで、六甲山地の山を削って大規模な住宅団地（須磨ニュータウンなど）を建設すると同時に、発生した土砂を海に運び、ポートアイランドや六甲アイランドといった人工島を造成しました。この山地の開発（住宅地確保）と海面の埋め立て（港湾・都市機能の拡張）を一体的に進める効率的な手法は「山、海へ行く」と呼ばれ、日本の都市開発の代表例として知られています。
問12	答え 4 コンビニエンスストアなどの看板の色を、周囲に馴染む落ち着いた茶色や白に変更する	景観を保護する地域では、全国展開している企業の店舗であっても、街の雰囲気や壊さないようなデザインが求められます。本来は赤や青などの派手なブランドカラーを使用している店舗でも、条例に従って落ち着いた色調に変更するなどの工夫が行われており、これが街の調和を保つための具体的な規制の一例となっています。